＜様式1＞

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	家族をつなぐ家
グループの名称	枠組壁工法優良の家の会
直近採択グループ番号	06-0485-0052

（グループ代表者）

代表者名	本田　幸二　代表者印
代表者所属先	株式会社インデュアホーム
代表者所在地	岩手県花巻市矢沢第10地割1番地1
代表者電話番号	0198-32-1882

（グループ事務局）

事務局事業者名	株式会社インデュアホーム
事務局担当者名	北舘　弘　印
事務局郵便番号	025-0011
事務局所在地	岩手県花巻市矢沢第10地割1番地1
事務局電話番号	0198-32-1882
事務局FAX	0198-31-2206
事務局担当者E-mail	kitadate@endure.jp

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	家族をつなぐ家
２．グループの名称(必須)	枠組壁工法優良の家の会
３．直近採択グループ番号(必須)	06-0485-0052
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	全国
５．結成年(必須)	2015　年
６．グループ代表者名(必須)	本田　幸二
７．グループ代表者の所属先(必須)	株式会社インデュアホーム
８．グループ代表者所在地(必須)	岩手県花巻市矢沢第10地割1番地1
９．グループ代表者電話番号(必須)	0198-32-1882
１０．グループ事務局事業者名(必須)	株式会社インデュアホーム
１１．グループ事務局担当者名(必須)	北舘　弘
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	025-0011
１３．グループ事務局所在地(必須)	岩手県花巻市矢沢第10地割1番地1
１４．グループ事務局電話番号(必須)	0198-32-1882
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	0198-31-2206
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	kitadate@endure.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	0	業者が海外であるため念書の入手が不可能であった。原木が適合している証明書を添付する
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	3	一部業者は原木供給業者から直接仕入れをしている。材が適合している証明書を添付する
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	1	一部業者は原木供給業者から直接仕入れをしている。材が適合している証明書を添付する
Ⅳ．プレカット	5	一部業者は原木供給業者から直接仕入れをしている。材が適合している証明書を添付する
Ⅴ．設計	5	
Ⅵ．施工	8	
Ⅶ．木材を扱わない流通	0	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	国産材		3	国内
	■　合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
	■　PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	■　PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	■　SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	■　FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	■　FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	■　FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	■　クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
	■　クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外

B．平成３０年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		4	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	4	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	3	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
		性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上))の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
		ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		3	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	3	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸

C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積	13	棟	
				㎡	
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び床面積	0	棟	
				㎡	

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	基本的には請負契約の早い準に配分するが、未経験の施工業者を優先させる。また全参加施工業者に不公平なく配分できるよう努める。

E．平成２９年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
	優良建築物型									
	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
	採択床面積		㎡	交付申請床面積		㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積		㎡	

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由
業者が海外であるため念書の入手が不可能であった。原木が適合している証明書を添付する

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由
一部業者は原木供給業者から直接仕入れをしている。材が適合している証明書を添付する

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
6	Ⅱ － 3	株式会社ヤマムラ		996-0053	山形県新庄市福田711-6	0233-22-1775
21	Ⅱ － 6	太平ハウジング株式会社		509-0232	岐阜県可児市二野1979-1	0574-62-1923
29	Ⅱ － 9	トリスミ集成材　株式会社		637-0014	奈良県五條市住川町1297	0747-26-6662
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －				

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅲ＞

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由
一部業者は原木供給業者から直接仕入れをしている。材が適合している証明書を添付する

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
37	Ⅲ － 4	大日本木材防腐株式会社		762-0004	香川県坂出市昭和町二丁目５番９号	0877-46-4501
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞　Ⅳ．プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅳ＞

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由
一部業者は原木供給業者から直接仕入れをしている。材が適合している証明書を添付する

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ．プレカット						
6	Ⅳ － 3	株式会社ヤマムラ		996-0053	山形県新庄市福田711-6	0233-22-1775
37	Ⅳ － 4	大日本木材防腐株式会社		762-0004	香川県坂出市昭和町二丁目5番9号	0877-46-4501
21	Ⅳ － 6	太平ハウジング株式会社		509-0232	岐阜県可児市二野1979-1	0574-62-1923
27	Ⅳ － 10	株式会社関西ウイング		542-0081	大阪府大阪市中央区南船場4丁目11-28	06-6243-6121
8	Ⅳ － 15	サンホームコンポーネント 有限会社		304-0819	茨城県下妻市鎌庭2052-41	0296-30-0880
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜様式 2-2・Ｖ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
5	Ｖ － 1	茂木建設株式会社		014-0113	秋田県大仙市堀見内字下田茂木２５－２	0187-69-2710	○	
37	Ｖ － 2	株式会社マブチアーキテクト		763-0052	香川県丸亀市津森町１０９８番地５	0877-21-6078	○	
23	Ｖ － 7	建築工房正二級建築士事務所		463-0003	愛知県名古屋市守山区大字下志段味字濁り池１７０５番地の１	052-736-4102	○	
27	Ｖ － 14	ヴィンテージホームズ二級建築士事務所		547-0005	大阪府大阪市平野区加美西1丁目13-47	06-6791-7037	○	
8	Ｖ － 16	有限会社　杉田建築設計事務所		304-0804	茨城県下妻市長萱802-3	0296-43-7004	○	
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －					

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

<様式 2-2・Ⅵ-1>

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)							8	○	○
5	Ⅵ - 1	70740	茂木建設株式会社		014-0113	秋田県大仙市堀見内字下田茂木25－2	0187-69-2710	○	
37	Ⅵ - 2	79234	株式会社マブチアーキテクト		763-0052	香川県丸亀市津森町1098番地5	0877-21-6078	○	
23	Ⅵ - 8	75730	株式会社建築工房正		463-0003	愛知県名古屋市守山区大字下志段味字濁り池1705番地の1	052-736-4102	○	
27	Ⅵ - 13	76849	ヴィンテージホームズ株式会社		547-0005	大阪府大阪市平野区加美西一丁目13－47	06-6791-7037	○	
8	Ⅵ - 17	71103	富士住建株式会社		304-0075	茨城県下妻市南原133－1	0296-44-6111		○
3	Ⅵ - 18	90341	有限会社インデュアホーム北盛		020-0815	岩手県盛岡市小杉山11－5	019-681-4731	○	
22	Ⅵ - 19	74911	株式会社イナダプランニング		418-0005	静岡県富士宮市宮原188-3	0544-28-4107		○
23	Ⅵ - 20	75614	株式会社かっこ屋		487-0027	愛知県春日井市松本町1丁目3番地の13	0568-51-7227	○	
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅵ. 施工－2（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成29年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計数(H27～H29)			被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	高度省エネ型住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
5	Ⅵ － 1	70740	茂木建設株式会社	4 戸	10 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
37	Ⅵ － 2	79234	株式会社マブチアーキテクト	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	○
23	Ⅵ － 8	75730	株式会社建築工房正	4 戸	4 戸	2 戸	5 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	3以下		○	
27	Ⅵ － 13	76849	ヴィンテージホームズ株式会社	7 戸	6 戸	1 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
8	Ⅵ － 17	71103	富士住建株式会社	10 戸	12 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	7以下	7以下	7以下	○	○	
3	Ⅵ － 18	90341	有限会社インデュアホーム北盛	6 戸	6 戸	1 戸	1 戸	1 戸	2 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	7以下	7以下	7以下	○		
22	Ⅵ － 19	74911	株式会社イナダプランニング	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
23	Ⅵ － 20	75614	株式会社かっこ屋	1 戸	1 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡				

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜様式 2-2・Ⅷ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式3－1＞

1．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称）家族をつなぐ家	（地域型住宅供給対象地域）全国
2．グループの名称・結成年(必須)	（グループの名称）枠組壁工法優良の家の会	（結成年）2015 年
3．過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0485-0052	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	気密性・耐震性・耐火性に優れた工法である枠組壁工法は東西に長い日本全土において各地の気候風土に対応できる性能があるといえる賀、普及率はまだ低い。全国各地で地震による被害が続き耐震性能にも関心が高まる中、枠組壁工の特徴である高気密・高断熱・耐震性能の優位をアピールしていく。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	地域の気候風土に柔軟に対応していくため外壁スタッドを2×4または2×6材を使用した枠組壁工法により工期の短縮化と一定の品質確保を図る。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	グループ共有のカタログを使用しその中から地域のフウドを踏まえ、町の景観を意識したデザイン住宅を提案する。	◎
④ ①～③の背景	全体的な住宅着工率の中で枠組壁工法の割合は低いといわざるを得ない。度重なる大震災において枠組壁工法の耐震性能注目されてはいるが、全国的には周知されていないのも事実である。以上の事から枠組壁工法の普及に貢献し契約率の向上につながればと言う方向性のもとにグループを組織した。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	スタッド材については国産材の活用を推奨する。	○

イ．効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：縦枠材は2×4材、2×6材を基本とする	○
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：縦枠材については国産杉材を推奨するが、基本はSPF、ホワイトウッドを使用する。	○
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：グループ共通の商品と仕様書を共有する	○
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：事務局が主体となり各資材、木材メーカーとの価格交渉、流通整備を行う。	○
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：情報提供など流れを一本化することで事務の合理化を図る。	○
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	■ 行っていない	□ 行っている→	内容：	
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある →	内容：現場見学会及び研修会を計画しその内容議題を提案、必要資料を作成する。全国のグループ構成員のために研修会場を岩手、栃木、愛知、滋賀、岡山、福岡とし連絡と出欠を確認する。	○
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある →	内容：フラット35対応枠組壁工法住宅工事仕様書を基準とし、グループの施工会社全店が長期優良住宅に取り組めるよう経験施工会社は未経験施工会社に研修会で指導アドバイスする。	○
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある →	内容：信頼性向上に向けグループ共通の検査ルールを定め定期研修会において工事の進行状況を確認する。	○
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある →	内容：グループ共通の見積、積算、住宅ローン計算ソフトを使いおきゃくさまの対応をすることで見積時の能率向上と信頼性の向上に努めるよう推進する。	○
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある →	内容：グループ施工会社の建物図面、施工写真を事務局がまとめ情報として共有し必要に応じてグループに資料提供する。	○
c	① 週休2日制の導入の取組	■ ない	□ ある →	内容：	
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない	■ ある →	内容：未経験の施工店においては経験のある施工店での現場研修会などに参加し実務が学べるようにしている	○
	③ 社会保険への加入	□ ない	■ ある →	内容：各社において加入	○
	④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない	■ ある →	内容：最低でも年一度は健康診断を受けるよう指導している	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	123				

※） 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）家族をつなぐ家	（地域型住宅供給対象地域）全国
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）枠組壁工法優良の家の会	（結成年）2015　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0485-0052	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：各施工会社にて住宅履歴情報を保存管理する。	○
		①-2 情報サービス機関の活用	■ ない	□ ある →	内容：	
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：事務局が定期研修会において履歴情報を確認する。	○
	②メンテナンス基準の整備	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：グループ共通の定期点検報告書を使用し点検する。	○
		②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：グループ共通の検査チェックシートを使用する。	○
		②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：グループ共通の自主検査チェックシート検査写真により確認。	○
	③住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：定期的に研修会のなかでグループミィーティングを行う。	○
		③-2 DIY体験会等の実施	■ ない	□ ある →	内容：	
		③-3 その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：定期的に行われる研修会のなかで実施する。	○
	④	維持管理委員会等の設置	■ ない	□ ある →	内容：	
	⑤	その他の維持管理の手法	■ ない	□ ある →	内容：	
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある →	内容：各々施工会社の責任において住宅完成補償へ加入する。事務局は進言し促す。	○
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：全国6箇所年10回行われる研修会のなかで実施する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。						

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある →	内容：全国6箇所で行われる研修会等で経験施工会社は、未経験施工会社に指導、アドバイスをする	○
	②-1	品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：グループ共通の施工検査チェックシート。	○
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある →	内容：グループ共通の施工検査チェックシートに添付された施工写真。	○
	③-1	需給計画の策定	□ ない	■ ある →	内容：地域型住宅の基準を全施工会社の長期優良住宅の施工と位置づけ。	○
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある →	内容：営業、工務、設計各担当者のの研修会を開催する。	○
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない	■ ある →	内容：基本的に事務局が取りまとめ資料を作成する。	○
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数		今年度の参加目標人数	
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数		今年度の参加目標人数	
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある →	内容：	◎
c	①	新たな技術等の導入	■ ない	□ ある →	内容：	
	②	新たな技術等の開発	■ ない	□ ある →	内容：	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。						

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）家族をつなぐ家	（地域型住宅供給対象地域）全国
2．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）枠組壁工法優良の家の会	（結成年）2015 年
3．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0485-0052	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	外壁縦枠材は地域材を使用とするが、国産杉材の使用を推奨する。また主要構造部にあっては過半の割合で地域材をしようする。	○
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	■ 50%未満　□ 50%以上　□ 80%以上	
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材 土台：□ 使用していない ■ 使用している 柱：□ 使用していない ■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない ■ 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等：□ 使用していない ■ 使用している 造作材 枠材、廻縁等：□ 使用していない ■ 使用している 板材 壁板、床板等：□ 使用していない ■ 使用している	○
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明	原木供給⇒製材・集成材⇒建材流通⇒プレカット工場⇒施工会社	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある → 内容：事務局一括して情報を把握しｸﾞﾙｰﾌﾟ施工会社に周知する。	○
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある → 内容：事務局が一括してメーカーと交渉しｸﾞﾙｰﾌﾟ施工会社に周知する。	○
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：輸入材のみならず国産材を使用することで需給の安定化を図る。	○
c	①-1 畳の活用	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	
	①-3 襖の活用	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	
	①-4 障子の活用	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：地域の素材を積極的に取り入れた施工例をグループ施工会社に紹介する。	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：地域の街並み景観に配慮したデザインを取り入れる。	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：グループの各地域の施工会社の建物見学を全国6箇所で年2回実施する。	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

カ．その他

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	震災復興に資するため特に耐震性の高い枠組壁工法の推進を図ると共に、地盤調査を義務化し制震装置等を仕様に入れる等被災地対応住宅として提案していく。	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組	震災復興に資するため特に耐震性の高い枠組壁工法の推進を図ると共に、地盤調査を義務化し制震装置等を仕様に入れる等被災地対応住宅として提案していく。	○

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（高度省エネ型・優良建築物型のみ）　　＜様式３－４＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）家族をつなぐ家	（地域型住宅供給対象地域）全国
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）枠組壁工法優良の家の会	（結成年）2015 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0485-0052	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ．グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

基本的には特別な設備を使用するのではなく各地域の気候風土に合わせてイニシャルコスト、ランニングコストを考慮した断熱性能を確保し一次エネルギーの削減には樹脂トリプルサッシ、節水型水洗器具、高効率型給湯システム、LEDライト、雨水利用などを積極的に活用する。また太陽光発電システム及びHEMSにより創エネとエネルギーの見える化を図る等パッシブ、アクティブ双方の面から省エネに考慮するよう努める。

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。